

発行日 令和 4 年 8 月 1 日
発行 協同組合
厚木市資源再生センター
所在地 厚木市飯山 2079-2
電話 046-242-4601
FAX 046-242-4610
URL <http://www.atsugishigen.com>
編集 広報・イベント委員会

リサイクルハート



「ごみ」って何？

「ごみ」を辞書で調べてみると、物の役に立たず無いほうが良いもの、利用価値の無い細々したもの、と定義されているようです。

確かに自分にとって必要のない物は、全てが「ごみ」として廃棄されてしまうかもしれません。しかし、その一つ一つを手にとってよく考えてみると、自分にとっては不要な物でも社会全体から見れば必要な物かもしれません。

そう考えると私たちの生活から出る「ごみ」と呼ばれる物はごくわずかになると思いませんか。

ご存知のとおり、使用済みのペットボトルやびんや缶、段ボール箱や読み終えた新聞・雑誌、着なくなった衣類等は、「資源」であって「ごみ」ではありません。「資源ごみ」という言葉を耳にすることがありますが、「ごみ」の意味からすると「資源ごみ」ではなく「資源物」と呼ぶほうが適切に思います。

「混ぜればごみ、分ければ資源」という言葉を私たちはよく使います。少し手を加えて分別することによって、「ごみ」から「資源」に、利用価値の無いものからある物として扱うことが可能となりますので廃棄する前の一手間にぜひご協力をお願いします。

皆さまのご協力をいただきながら、私たちも資源循環型社会の推進に努めてまいります。

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



近年ニュース等でよく聞く「SDGs」(エスディージーズ)という言葉。また、さまざまな場面で上記のイラストを見かけることが多くなりましたが、「文字を見ても耳で聞いても意味がよく分からない」という人は少なくないと思います。

SDGsとは「この先の世界が今以上に良くなるために、2030年までに世界全体で協力して解決したい目標」のことで、正式には「持続可能な開発目標」といいます。

SDGsには17の目標が定められており、「貧困をなくそう」、「人や国の不平等をなくそう」、「海の豊かさを守ろう」といったように分かりやすい言葉で示されています。

そして、12番目の目標に「つくる責任、つかう責任」とありますが、「つくる責任」とは生産者に求められる責任であり、「つかう責任」とは消費者に求められる責任で、リサイクルに協力することなどがその一つの例として挙げられますが、この

目標を達成する上ではリサイクルが必要不可欠となり、それは「ごみ」の分別から始まります。

厚木市で定められている分別方法を確認し、今まで以上に質の高い分別をすることが目標達成に向けた1つの動きになると思います。

そして、私たちは、皆さまが集積所に出された資源物をリサイクルルートに乗せるという大切な役割を担っていることから、SDGs 12番目の目標に大きく関係していることを肝に銘じて作業に臨んでまいります。



せん定枝・落ち葉・雑草の正しい出し方にご協力ください

せん定枝等の資源化も皆さまに少しずつ浸透し、ごみの減量化に明るい兆しが見えてきました。いつもご協力をいただきありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。

さて、ここでは収集中に困ってしまった事例を紹介した上でお願いがあります。

それは「重たい物」の扱いです。

先日、ある家庭でフレコンバック（別名トン袋）というとても大きな袋いっぱい草が詰められた状態で排出されたことがありました。

1人ではどうやっても運ぶことが出来ず、2人がかりで必死の思いでトラックの荷台に積み込んだのですが、この時収集員は判断を間違えたのです。

「せっかく出してくれたのだから」という思いで作業にあたったこの収集員の心がけは嬉しいのですが、



無理をして腰を痛め、その後の業務に支障をきたす結果を招いたことは失態と言わざるを得ません。

私たちはこの経験を反省し、「怪我が原因で収集作業ができなくなれば、市民の皆さんや収集する仲間に迷惑をかけてしまう。体調管理の重要性を念頭に業務にあたろう」といったことから、今後、同様の事があった場合には、無理な収集はせず、一人で持ち運びが可能な重さで出していただくよう周知した上で置いていくことにしました。

上記のフレコンバックは稀に見るものですが、90リットルの袋はよく排出されており、中には一人では対応できない重さの物もあります。ぜひ一人で持ち運びが可能な重さにしていただきますようご協力をお願いします。

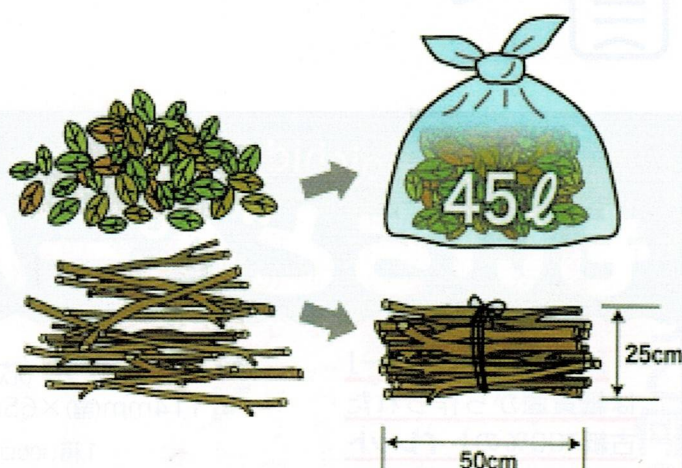
「以前はそれで持っていったのだから同じように対応してよ」と、声上がるかもしれませんが、私たちの身を守るためのことでもありますので何とぞご理解をいただきますようお願いいたします。

正しい出し方

- 枝の長さを50センチ程度に切りそろえ、ひもなどで束ねてください。
- 小枝や雑草、落ち葉は、透明・半透明の袋に入れてください。
- 1束、1袋は、大人1人が運べる重さにしてください。

1束の直径は25cm程度

1袋は45リットル程度



※厚木市発行のガイドブック「資源とごみの正しい出し方」より

【予約申し込み先】グリーンベース受付 電話 046-242-4600

受付時間 9:00～12:00 13:00～16:30(土・日・祝は休業)

※休み明けの午前中は電話が非常に混み合いますのでご承知おきください。

ペットボトルの正しい出し方

1. キャップとラベルは外してください

ペットボトル本体とキャップおよびラベルは異なる資源です。

キャップおよびラベルは「プラスチック製容器包装」となり、ペットボトルとは収集日が異なります。

また、キャップやラベルが付いていると、選別作業の際に取り外す作業が加わり処理の遅延につながります。この時期(夏)は特にペットボトルの発生量が多いことから、処理しきれずに一時的に保管をしているのですが、スムーズにリサイクルルートに乗せるためにも、皆さまのあと一作業のご協力をお願いします。

2. 洗って潰して出してください

ジュース等の飲み残り等が入っていると臭いのもととなり衛生上良くないばかりか、虫やハチが寄ってきて身の危険を招くことにもつながります。

例年、この時期に収集員が集積所でハチに刺される被害が数件発生します。集積所に資源物を置きにくる皆さまにも被害がおよぶ可能性がありますのでご協力をお願いします。



moichido-paper

もいちどペーパー

お問い合わせ

協同組合 厚木市資源再生センター
TEL : 046-242-4601
FAX : 046-242-4610
E-mail : jim@atsugishigen.com

「もいちどペーパー」
は紙資源から作られた古紙100%のトイレットペーパーです。

パルプ100%の品質に近いものを製紙工場で作っています。

資源回収した紙を「**もう一度**」という意味が込められています。

シングル(芯あり) 114mm(幅)×65m(長さ)



1箱(100ロール入り)
¥3,190(税込)
(税抜 ¥2,900)
1ロールあたり約¥32
4箱以上ご注文時は
¥3,080(税込)
(税抜 ¥2,800)
1ロールあたり約¥31

※ひとつひとつ包装してあるので外での保管/使用にも便利で、衛生的です。

紙ひも

新聞、雑誌、段ボールを束ねるのに便利です。併せてご購入下さい。もちろん!! 紙ひもだけでも販売いたします。



1巻(100m)
¥170(税込)
(税抜 ¥155)

※紙ひもは同一の紙資源のため、環境にやさしい商品です。